



徳島県立阿南光高等学校

緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム TEAM バイオマス工房・みらい

徳島県阿南市宝田町今市中新開 10-6

大阪・関西万博での いのち輝く未来社会に向けたサステナブルな取組



刈草と竹から開発した資源循環型肥料

徳島県立阿南光高等学校・緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチームでは、植物廃材の「刈草」から資源循環型肥料を開発し、東京オリンピック・パラリンピックでの暑さ対策の移動式木陰の肥料に採用され、地球に優しい五輪・パラリンピックの開催に寄与してきました。

さらに、東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた岩手県陸前高田市での桜を植える「桜ライン311」の桜の肥料に活用されています。

今回、新たに放置竹林の「竹」に着目し「刈草と竹」から、より通気性・保水性に優れた改良型の資源循環型肥料を開発しました。

この改良型の資源循環型肥料は、2025年に開催される大阪・関西万博の会場整備に採用され、全国ではじめて高校生の団体として「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催する国際博覧会の開催に参画するという奇跡を生みました。

私たちは、環境問題を学ぶ高校生として持続可能な環境社会の構築に向けてこれからも地球温暖化防止に向けた活動を続けて行きます。